

学校図書館 訪問記「フックぷらっと！」



～活用あれこれ～



読書振興課では、各学校での学校図書館の授業活用の様子や図書委員会の活動、図書館行事の取り組みを見学させていただいています。今年度の各校での取り組みを紹介します。

授業編

学校図書館の資料の利用指導が授業（単元学習）の中で行われています。

西丘小学校 「百科事典の使い方」 授業者：中崎先生（司書教諭） 森垣先生（学校司書）

中崎先生から「9/28のスーパームーン見た？」という話から、『月ってどれくらい大ききなんだろう？』という「問い」について、「知りたかったらどうする？」と聞かれたのは4年1組の子どもたち。

子どもたち：「スマホ！」（さすが今どきの子どもたち！）

中崎先生：「スマホやPCでも調べられるよね？でも学校にいるときどうする？スマホもないし、PCも週1回しか使えないよね～？どうする？」（さすが先生！ナイス切り返し。）

子どもたち：「本で調べる、図書館行く」（なんと！喜ばしい！？返答）

中崎先生：「図書館行ってどうする？」（さあ～どうする？）

子どもたち：「本や百科事典からさがす！」

中崎先生：「さすが4年生。1, 2年生なら森垣司書さんに聞く～って言うよ！

それで、百科事典以外で、みんなは何類の棚の本をみるの？」

子どもたち：「4類！」（さすが4年生！NDC分類が身についている！）



…と子どもたちとの軽快なやり取りで授業が始まりました。説明ばかりではなく活発なやり取りが子どもたちの「学ぶ」気持ちを高めていきます。その後、百科事典の解説や使い方についても、子どもたちと会話・対話しながら授業が進み、最後に先生から「30のミッション」が…。班のみんなで協力して、ミッションに書かれた「問い」について百科事典で調べます。最初は言葉（事柄）を引くことに一生懸命になり、その事柄の「何を調べるんだっけ？」となっていました。次第に定義を読み、問われていること（本質の問い）に対する答えを見つけることができるようになりました。前日に授業を行ったクラスも含め、クリスマスプレゼントにポプラディアをサンタさんをお願いする子が増えた？くらい百科事典にはまった4年生でした。

司書教諭と担任と学校司書と一緒に「授業をつくる」ととても素晴らしい授業でした。



少路小学校 「年鑑の使い方」 授業者：緒方先生（学校司書）

様々な資料、データから調べ学習を進めていく5年生が「年鑑」の使い方の学習をしていました。活用に向けた大事な学習です。

緒方司書から「参考図書と呼ばれる本には、『図鑑』『じてん』がありますが、『年鑑』もその一つです…」と説明が始まりました。子どもたちが頭の中で、「もくじ、索引はあるかな？」と今までの学びと結びつけば大したもの（系統学習の理想）です。緒方司書は「年鑑には色々あります～」と話し「ニュース年鑑」「スポーツ年鑑」「天文年鑑」と手際よく書架から引き当てながら子どもたちに示し、「何年のものか（何年のデータか）」の話へ。子どもたちが使う「朝日ジュニア年鑑」の特長、データを見るときに注意事項について一通り学習した後に「石巻漁港の水揚げ量」を班ごとに（年ごとに）調べるミッションがあり、それぞれ見つけて、データを緒方司書に報告。ホワイトボードに書きとっていくと…。そのデータから見えてくることがありました。子どもたちも気が付きました…未曾有の東日本大震災と水揚げ量との関連です。データと出